

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校 赤門自動車整備大学校
設置者名	学校法人 赤門学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	二級自動車整備士科	夜・通信	2277.8 時間	160 時間	
	一級自動車整備士科	夜・通信	4372.2 時間	320 時間	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

http://www.akamon.org/jyouhoukokai.html

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校 赤門自動車整備大学校
設置者名	学校法人 赤門学院

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<http://www.akamon.org/jyouthoukoukai.html>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	元 東北経済産業局 環境資源部長	2022/4/1 ～2025/3/31	組織運営体制への チェック機能
非常勤	自動車学校 校長	2022/4/1 ～2025/3/31	組織運営体制への チェック機能
非常勤	専門職大学 学長	2023/4/1 ～2025/3/31	組織運営体制への チェック機能
非常勤	会社員	2023/5/26 ～2025/3/31	組織運営体制への チェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校 赤門自動車整備大学校
設置者名	学校法人 赤門学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>毎年3月中旬から4月初旬に職員会議等において教員間で打合せをし下記の方針等を中心に授業計画(シラバス)を作成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学生の理解度を上げる 2. 国家試験に合格出来る学力を身に着ける 3. 卒業後の就職先で基本的な作業をこなせる人材育成等 <p>また、学生に対してはホームページを通じて公表する。</p>	
授業計画書の公表方法	http://www.akamon.org/syllabus.html
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>定期試験の基準は100点満点中50点以上取得、出席率の基準は2年次までは、一級科、二級科ともに学科時間数の90%以上、実習時間数の95%以上並びにその他行事等合計時間数の80%以上の出席とする。また、一級科の3,4年次については、学科時間数の85%以上、実習時間数と評価実習時間数が各90%以上とし、その他行事等時間数は1年次から4年次まで各80%以上の出席として定期試験と出席率を両方満たしている場合に履修認定する。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する。 (100点満点で点数化) ホームページを通じて公表する。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>http://www.akamon.org/jyouhoukoukai.html</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>各学科の最終学年（二級科2年生、一級科4年生）の生徒全員が卒業認定試験を受験し、下記の学科ごとの卒業認定基準を満たした生徒は卒業認定の対象となり、学年末の卒業認定会議において総合評価し最終決定する。</p> <p>二級科自動車整備士 卒業認定試験 100点満点中 75点以上 一級科自動車整備士 卒業認定試験 100点満点中 80点以上</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>学生便覧や一般からの問い合わせ等については、その都度ご対応します。</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校 赤門自動車整備大学校
設置者名	学校法人 赤門学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.akamon.org/jyouhoukoukai.html
収支計算書又は損益計算書	http://www.akamon.org/jyouhoukoukai.html
財産目録	http://www.akamon.org/jyouhoukoukai.html
事業報告書	http://www.akamon.org/jyouhoukoukai.html
監事による監査報告（書）	http://www.akamon.org/jyouhoukoukai.html

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士
工業		工業専門課程	二級自動車整備士科	○	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 1800 単位時間/単位	開設している授業の種類		
			講義	演習	実習
2年	昼		847 単位時間 /単位	1430 単位時間 /単位	2277 単位時間/単位
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
240人	232人	208人	14人	人	14人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>毎年3月中旬から4月初旬に職員会議等において教員間で打合せをし、下記の方針等を中心に授業計画（シラバス）を作成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学生の理解度を向上させる 2. 国家試験対策として合格出来る学力を身に着ける 3. 卒業後の就職先で基本的な作業を行える人材の育成等 <p>また、学生に対しては、ホームページを通じて公表する。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する（100点満点で点数化）</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>卒業 二級自動車整備士科 認定試験 100点満点中75点以上 進級 二級自動車整備士科 認定試験 100点満点中70点以上</p>

学修支援等 (概要)
ホームルーム、進路・就職指導等により、学生の学修支援に対応している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
101人 (100%)	2人 (2%)	97人 (96%)	2人 (2%)
(主な就職、業界等) 自動車ディーラー			
(就職指導内容) 年間10回の予定で就職指導授業（一般常識問題・面接練習・生活習慣等）			
(主な学修成果（資格・検定等）) 二級自動車整備士、中古車査定士			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
209人	1人	0.5%
(中途退学の主な理由) 就職が決まったため		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による個人指導、必要に応じて保護者と面談		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工業専門課程	一級自動車整備士科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
			1582 単位時間 /単位	単位時間 /単位	2790 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
4年	昼	3600 単位時間/単位	4372 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	25人	0人	2人	人	2人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）																	
<p>（概要）</p> <p>毎年3月中旬から4月初旬に職員会議等において教員間で打合せをし、下記の方針等を中心に授業計画（シラバス）を作成する。</p> <p>3. 学生の理解度を向上させる</p> <p>4. 国家試験対策として合格出来る学力を身に着ける</p> <p>3. 卒業後の就職先で基本的な作業を行える人材の育成等</p> <p>また、学生に対しては、ホームページを通じて公表する。</p>																	
成績評価の基準・方法																	
<p>（概要）</p> <p>履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する（100点満点で点数化）</p>																	
卒業・進級の認定基準																	
<p>（概要）</p> <table border="0"> <tr> <td>卒業</td> <td>一級自動車整備士科</td> <td>認定試験</td> <td>100点満点中80点以上</td> </tr> <tr> <td>進級</td> <td>一級自動車整備士科_1年</td> <td>認定試験</td> <td>100点満点中70点以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>一級自動車整備士科_2年</td> <td>認定試験</td> <td>100点満点中75点以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>一級自動車整備士科_3年</td> <td>認定試験</td> <td>100点満点中80点以上</td> </tr> </table>		卒業	一級自動車整備士科	認定試験	100点満点中80点以上	進級	一級自動車整備士科_1年	認定試験	100点満点中70点以上		一級自動車整備士科_2年	認定試験	100点満点中75点以上		一級自動車整備士科_3年	認定試験	100点満点中80点以上
卒業	一級自動車整備士科	認定試験	100点満点中80点以上														
進級	一級自動車整備士科_1年	認定試験	100点満点中70点以上														
	一級自動車整備士科_2年	認定試験	100点満点中75点以上														
	一級自動車整備士科_3年	認定試験	100点満点中80点以上														
学修支援等																	
<p>（概要）</p> <p>ホームルーム、進路・就職指導等により、学生の学修支援に対応している。</p>																	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
2人 (100%)	人 (%)	2人 (100%)	人 (%)
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>自動車ディーラー</p>			
<p>（就職指導内容）</p> <p>年間10回の予定で就職指導授業（一般常識問題・面接練習・生活習慣等）</p>			
<p>（主な学修成果（資格・検定等））</p> <p>一・二級自動車整備士、中古車査定士</p>			
<p>（備考）（任意記載事項）</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
23人	1人	4.3%

(中途退学の主な理由) 進路変更
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による個人指導、必要に応じて保護者と面談

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
二級 自動車整備士科	140,000 円	435,000 円	610,000 円	その他内訳：厚生通信費、維持管理費、教科書代
一級 自動車整備士科	140,000 円	435,000 円	610,000 円	その他内訳：厚生通信費、維持管理費、教科書代
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.akamon.org/jyouhoukoukai.html		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 全職員が行う自己評価の結果を集計し、学校関係者評価委員が評価し課題・対策等について適切であるかを協議・修正する。 また結果については、職員会議等にて全職員へ周知し、翌年度より教職員としての資質・能力向上を図る取り組みを進めていきます。 主な評価項目 (教育課程、進路指導等)		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
阿部勝自動車工業株式会社 代表取締役社長	2024/4/1～2027/3/31	卒業生
宮城スバル自動車株式会社 営業支援統括部技術支援課担当課長	2024/4/1～2027/3/31	企業等委員
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.akamon.org/jyouhoukoukai.html		

第三者による学校評価（任意記載事項）

c) 当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）

<http://www.akamon.org>

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	H104391010125
学校名 (〇〇大学 等)	専門学校 赤門自動車整備大学校
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人 赤門学院

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者 (家計急変による者を除く)		—	—	—
内 訳	第Ⅰ区分	—	—	
	第Ⅱ区分	—	—	
	第Ⅲ区分	—	0人	
	第Ⅳ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者 (年間)				0人
合計 (年間)				—
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号、第4号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人
(備考)					

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。） 及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	0人	0人	0人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。